



県議会各政党・会派との懇談会

消費者行政の充実や食の安全の問題等について懇談

消費者行政充実強化や食の安全の問題、生協の環境・福祉・平等の取り組みや事業状況等、県議の皆様と懇談・意見交換しました。食の安全では、埼玉県における取り組みの経過や課題、消費者行政では、消費者庁創設に伴う地方消費者行政充実強化のための支援などを要望しました。



12/2

自民党3役5人と懇談
あいさつされる長沼団長



12/11

民主党・無所属の会13人
(18人中)と懇談



12/16

公明党の山本団長を
含む4人と懇談



12/21

日本共産党の柳下議員と
山川議員と懇談

生産者と消費者の取り組みを交流し想いをつなげました

JA埼玉県女性協と埼玉県生協ネットワーク協議会との第15回早春交流会

さいたまコープ
浦和を会場に46人が参加。さい
たまコープの「CO₂削減
の取り組み」について学
習しました。その後、コー
プ南浦和店に移動し、店
内図・見学ポイントの説
明を受け、各自で店舗見
学をしました。会場に戻り
、6グループに分かれ、環
境や食、農業の収穫体験
など身近な取り組みを交
流しました。

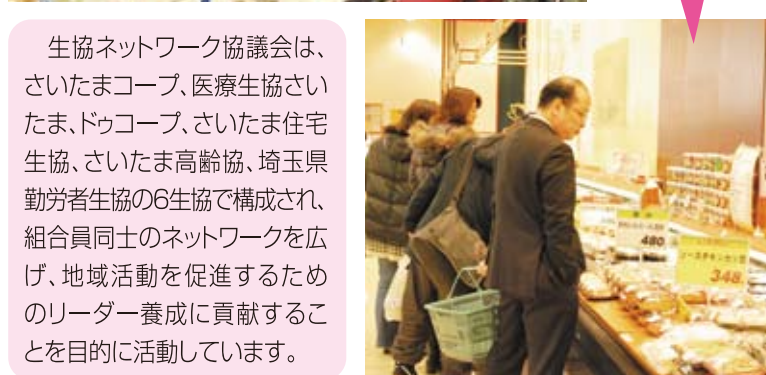


2/2

さいたまコープの「CO₂削減の取り組み」を学習



グループに分かれ交流



コープ南浦和店を見学

生協ネットワーク協議会は、さいたまコープ、医療生協さいたま、ドゥコープ、さいたま住宅生協、さいたま高齢協、埼玉県勤労者生協の6生協で構成され、組合員同士のネットワークを広げ、地域活動を促進するためのリーダー養成に貢献することを目的に活動しています。

2010年埼玉県生協連新春賀詞交換会 各界代表の皆様等60人が 出席し懇親を深めました



1/21

埼玉県生協連を代表し、伊藤会長理事が「大変厳しい経済状況ですが、組合員は約5万世帯増えています。また、最大の消費者組織として社会的役割を一層発揮していきたい」とあいさつ。来賓の皆様から祝辞や消費者行政・食・環境・福祉など、生協への期待のあいさつをいただき、なごやかに懇親を深めました。

埼玉県生協役員研修委託事業 監査の実務やポイントと指導検査で 見受けられる問題点を学習



2/4

講師は公認会計士の
蛭川俊也氏

2008年の改正生協法を受け、生協運営の健全な発展に果たすべき監事の役割と監査の実務についての学習や交流を目的に監事研修会を開催。8生協(連)・他より28人が参加しました。改正生協法のポイント、監事の職務・権限、指導検査で見受けられる問題点等について学びました。

埼玉県生協役員研修委託事業 賀川豊彦の思想と実践から生協の 原点と今日の役割を考えました



3/18

講師に賀川豊彦記念館松沢資料館学芸員の杉浦秀典氏を迎え、56人が参加。1909年から1960年までに「救貧活動」「労働組合運動」「農民運動」「協同組合運動」「平和運動」等、多岐にわたる活動を提唱しました。そして、自ら実践することを通じ、多くの人の暮らしを助けるとともに、社会発展に大きく貢献したことなど、思想と実践の今日的意義を話されました。

生協ネットワーク協議会「公開学習会」 派遣村から考える 貧困の実態と 解決方法を学びました



2/22

NPO法人自立生活サポートセンターの富樫匡孝氏を講師を迎え、「豊かな国のみちにある貧困～「もやい」～」をテーマに開催し、73人が参加。「社会保障を充実し、セーフティネットを整備することがトータルで社会的コストの低減につながります。自分ができる範囲のことをし、それをつまらないこととは思わずに続けてほしい」と呼びかけました。

市民活動助成金2010年度事業への 助成団体を決める

さいたまコープ

地域の様々な活動を応援する「さいたまコープ市民活動助成金」を、今年度は、2010年度事業への助成のほか、さいたまコープ創立40周年を記念し、県内の遊休農地を有効に活用する取り組み「農に関する特別助成」を設けました。1月23日、「全域助成」農に関する特別助成」への申し込み団体によるプレゼンテーションを経て、助成団体を決定しました。



県内生協の幅広い 社会貢献活動

この紙は再生紙を使用しています

共同購入から平和を考える交流会

生活クラブ生協

1月22日、平和とは何か、様々な角度から考えるための交流会を開催しました。各ブロックで展開している活動の報告や、熊谷ブロックによる谷川俊太郎の「きゅうよく」という詩を材料としたワークショップが行われました。そして、世の中の色々な場面で、相手と対等な関係性が保てる状態であることが「平和」であることを共有しました。



島原半島で野菜と果実 有機栽培に取り組む

埼玉県勤労者生協

1月30日、長有研代表近藤正明さんを迎え、「味・安全そして健康」をテーマに「長有研学習会」を開催しました。島原半島の温暖な気候、恵まれた土壌条件の中で作る柑橘類、じゃがいも、玉ねぎなどの話、農業の過剰使用に疑問を持った25の専業農家が有機JAS認証を取得していく経緯、新規就農を目指す若者の研修の場や、農業体験の機会を生かす地域と一体化した取り組みが紹介されました。



調理した野菜からは生産者の顔や声がか
聞こえてくるようです。

2010年ドゥコープ市民活動支援金の 贈呈式を開催しました

ドゥコープ

3月8日、「2010年ドゥコープ市民活動支援金」の助成金贈呈式および交流会を開催しました。福祉・環境・まちづくり活動、NPO、県内の市民団体等の活動に対し支援していく市民活動支援金の助成を1999年から行っています。贈呈式では、市民活動支援金運営委員会委員長の村田恵子氏(さいたまNPOセンター専務理事)からの講評の後、坂本美春理事長から助成先の8団体に目録を手渡しました。



ボランティア学習交流会で “回想法”を学びました

医療生協さいたま

3月6日、ボランティア学習交流会を開き、第一部の回想法の学習会(講師:出雲医療生協同組合理事長 鈴木正典氏)には130人が参加、第二部はボランティアの交流を行いました。チェロの演奏で始まり、なつかしい時代を思い出しながら、写真を使った回想法実演と経験者の体験談を聞き、最後はリズムセッションをして、初心者でもできるコミュニケーション手法や日常活動への生かし方を学びました。



竣工・高齢者専用賃貸住宅 COOPハウス「未来館」

さいたま住宅生協

2月18日、高齢者専用賃貸住宅COOPハウス「未来館」の竣工式が行われました。式典には、県生協連をはじめ医療生協・高齢協が参加。また、施工に当たって大きな役割を果たした埼玉県住宅供給公社や施工会社などの代表者をはじめとする関係者が無事完成したことを確認、歓迎しました。初めての生協協力事業として各界・各々からの関心の高さが示された竣工式となりました。



地域で元気に安心して暮らしていくための 交流会を開催

さいたま高齢協

2月6日、理事・総代交流会を開催しました。高齢化率30%の超高齢社会に突入する中で、組合員として暮らしの質を高め元気に安心して暮らしていくために、どんな活動をしているか、何が必要となっているかを交流しました。有償ボランティアの助け合い活動と高齢者の働く場をどう確保していくか、地域での生活サービス事業の必要性を確認しました。



県と連携した不当表示広告調査結果報告会と表彰

埼玉大学生協・大東文化学園生協・跡見学園女子大生協・淑徳大学みずほ台生協・十文字学園生協

2月24日、不当表示広告調査結果報告会と知事表彰などが行われました。調査には、5大学生協と3大学、そして新たに3高校が参加。7月～12月にかけて、雑誌・インターネット・新聞折り込みなどを調査。報告件数は170件、違反被疑件数は141件。商品別には、ダイエット・美容関係が上位を占めました。参加者は「不当広告をなくするには消費者の意識を変えることが大切」と話しました。

